

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第1号

令和4年4月6日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今年度も本校ではキャリア教育部通信を発行していきます。この通信で、社会の変化に対応して生きていくのに必要な力や新しい価値観などの情報を発信し、みんなが進路を考える際の一助となり、新しいものを創りながら、生きていけるようにという願いを込めて発行していきます。何かを感じ取って、心のエネルギーにしてください。

「人の話を聞く」ことができますか？

『LISTEN 知性豊かで創造力がある人になれる』ケイト・マーフィ著 日経BPマーケティングという本の中から紹介します。

あなたが最後に、誰かの話に耳を傾けたのはいつだったか、覚えていますか？

現代の私たちは、自分の心を聞こう、内なる声に直感に耳を傾けよう、それはいいことだから、と言われていています。しかし、他の人の話に注意深くしっかりと耳を傾けるようにと言われることはほとんどありません。

耳を傾けることは話すことよりもずっと大切です。これまで、話をきちんと聴けなかったがために、戦争が起こり、富は失われ、友情が壊れてきました。

第30代アメリカ大統領カルビン・クーリッジの有名な言葉があります。

「耳を傾けたがために職を失った人はいない」

私たちは聴くことでしか、人として関わり、理解し、つながりあい、共感し、成長できません。聴くことは、プライベートであれ、仕事であれ、政治的なものであれ、どのような状況においても、人間関係がうまくいくための土台をなすものです。

古代ギリシャの哲学者エピクテトスは、実際、こう言いました。「自然は人間に、舌ひとつと耳ふたつを与えた。自分が話すその倍は、人の話を聞くようにと」。

私たちはかつて、友達や家族に直接会って近況報告をしていたものでした。でも今は、テキスト・メッセージを送ったり、ツイートしたり、ソーシャルメディアに投稿したりする方が多いのではないのでしょうか。

今の時代は、数十、数百、数千、もっと言えば数百万もの人に、同時にメッセージを送れます。でもあなたは一体どのくらいの頻度で、その誰か一人と直接会って、話をじっくりと掘り下げる時間を持ったり、持つ努力をしたりしているのでしょうか？

4月は桜が咲き、穏やかな温かさになり、新しい環境で新鮮な気持ちでスタートを切れます。心機一転のチャンスです。「**人の話を聞く**」ことで新しいたくさんの友人をつくっていきましょう。多くの人と出会い、多くの考え方や生き方に触れることが、自分の心を広くし、いろいろな価値観が形成され、自分のやりたい・なりたいものが見えるようになっていきます。**自分のやりたい・なりたい・挑戦したいことに向かって生きていこう！**進学先は後からついてきます。

Seek and you shall find.